



発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話(03)3751-7181

平成13年 8月15日
第24号

祖廟参詣

全門連身延理事会開催さる



日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・理事会 平成13年 6月4日

平成十四年、我々日蓮聖人門下では立教開宗七五〇年を迎える。ますます混迷する現代社会の中で、我々は何をなすべきか。各門流教団で様々な企画が進行中である。今こそ門下総力を挙げて真実の仏法を伝え日蓮聖人の理想実現に向け邁進しよう。

身延山西谷常唱殿に 各門下代表が参集する

平成十三年六月四日(月)日蓮宗総本山身延山久遠寺(藤井日光法主)で「祖廟参詣・全門連身延理事会」が開催され、全門連顧問・常任理事・理事・監査・北海道門下連合会理事長・大阪門下懇話会理事長ら、計十五名が参加した。

午前十一時二十分、身延山西谷の常唱殿に集合した各門下代表は、初夏の風薫る中、撃鼓唱題にて祖廟並びに宗祖御草庵跡に参詣し、渡邊清明理事長導師のもと法味言上を行った。

祖廟前にて記念写真を撮影の後、一行は久遠寺に登山し、大本堂にて法味言上。新書院にて伊藤通明久遠寺総務より歓迎の御挨拶をいただき、昼食休憩となった。昼食後、参加者は宝物館を自由拝観。午後二時より身延山大学会議室に会場を移して理事会を開催。

先ず始めに出席者各自自己紹介後、慣例により渡邊理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。事務局より平成十二年度事業報告がなされ、理事會・常任理事會・機関紙編集委員会それぞれ開催日、門連役員人事の件、祖廟輪番奉仕(国柱会が三十六回目的奉仕)等について報告、了承された。

次に、平成十三年年度決算について事務局より詳細報告の後、牧野監査より、去る五月十一日に行われた監査報告があり、承認された。また平成十三年度予算案については、平成十三年度事業計画案と併せて検討を行った結果、事務局原案通り承認された。

続いて監査任期満了に伴う「監査推薦の件」については、従来通り日蓮宗から一人、他の門下から一人の計二人を予候補者として挙げ、この身延理事会に於いて承認することになったが、以前からの申し合せ事項にその対象者として過去に門連役員を経験した方、東京近郊在住の方、といったことがあり、今回もそれに則り人選を各派に依頼した。

しかし、各門下とも該当者の人選が困難であるとの返答があり、よってこれらの事情を鑑み、今後はその枠を外し、各派にお願いをすることになった。

この件については、事務局の方で次回の京都理事会までに候補者を選出しておくこととなった。

続いて地方門連活動に関する報告

として、京都門下連合会(杉若恵隆理事長)より、御降誕会・立教開宗会・夏季大学・御会式について報告。大阪門下懇話会(藤村忠管理理事長)は、今年で第六回を迎える京都十六本山巡拝日帰りツアー(本年は立本寺と本能寺)・合同御会式・研修会等の事業計画について報告。北海道門下連合会(佐藤光春理事長)は、会員の中でロータス会が結成された旨報告。

以上、それぞれの年間活動報告及び今後の活動方針について報告がなされた。

慶讃記念事業の進捗状況

「日蓮展(仮称)」開催の方向へ

立教開宗七五〇年慶讃記念事業に関する件については、昨年の京都理事会で決定した「日蓮展(仮称)」の準備進捗状況について事務局より報告。開催日については前回の報告通り平成十五年一月から二月にかけて開催予定。

内容については現在東京国立博物館(以下、東博という)側と調整中である旨報告。また出展リストについて東博より提出されたものが理事会で配布された。

この日蓮展については、前号前々号にでも記載された様に、ここ何年かに亘って門下連合会に於ける七五〇事業中の宿願であった。然しながらここに至るまでの道のりは必ずしも平坦ではなかった。

昨年五月三十日に開催された身延理事会に於いては、展示品に対する宗派の責任であるとか、準備期間不足の問題、又は開催期日の未確定など、様々な問題点を抱えた状況の中で、一旦白紙となり、展覧会開催への願いは一瞬潰えた。

その他の事業としては、門下青年会の結成について、その準備を進める事が確認された。

午後三時四十分閉会。この後、会場を下部ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催。会員相互の親睦を深めた。

從地涌出

◆これは大事だと思うことを、形にはめて子供を育てることを「しつけ」だと考えるのが一般的である。

ろくに挨拶もできない、老人に席を譲らない、といった事象を指して、「まるでしつけが出来ていない」と評される。「しつけ」ということをこの様にとらえるから、世の中全体の乱れがひどくなったと思われるのだろう。

語源的には「しつける」ことが、「し慣れ」で「しつめる」ともいえるべきである。「しつけ」で「し慣れる」とやがて身に付いて、別に意識せずとも、身に付いた形で行動する、それを「しつけ」が身に付いていることだと理解すると、世の中の乱れの意味がわかってくる。

◆挨拶もできない子を「しつけができていない」と考えず、いわば、マイナスの「しつけ」ができていると考えてみるのだ。習慣、つまり「し慣れ」でしつかり身に付いていることが、「しつけ」の成果である。

昔なりの押し付けることが「しつけ」と考え「しつけ」を実践すると、それが元々納得できる子に効果はあっても、それができないことを批難され続ける子は、「また言われた、くどいよ、もうわかったよ」と、うんざりして反発し、いわばマイナスの「しつけ」が、段々と身に付いてしまう。ここに今の子供の難しさがある。

◆身に付いてしまったマイナスの「しつけ」をプラスの「しつけ」に変えていくためには、一々やり直し続けるという「しつけ」を実践することにほかならない。今は、プラスの「しつけ」が本当に必要なきときである。

お願い

「門連だより」の継続発展のため各派のご協力を切にお願いします。本紙に対する感想要望など、ぜひお寄せください。

「日蓮聖人門連だより」編集委員会

(浩)

ポスト750 宗門布教の方向性 第3回 本門法華宗



本門法華宗宗務総長
立教開宗七五〇奉賛会執行委員会委員長
高邊 信幸

つたえよう 広めよう お題目を

今こそ大聖人の悲願達成を

いよいよ立教開宗七五〇年の聖日を明春にひかえて、日蓮聖人門下連合会加盟の各宗各派において、祖意に添う諸々の記念事業が、僧俗挙げて遅滞なく進められていっています。誠に慶ばしく、この上は、それらが所期の如く円成されますことをお祈り申し上げます。

私も「本門法華宗」におきましては、平成八年に「日蓮聖人立教開宗七五〇年奉讃会」を設け、当宗務院内に本部を、また各地区寺院を支部として、「お題目を」をいただいて七五〇年一ひろめよう 伝えよう「お題目を」をスローガンにかかげて、このための記念事業、ならびに諸種の運動を展開いたしてまいりました。この奉讃会は、総裁に管長及び副総裁に閑士を推戴し、その本部に執行委員会が組織され、総長を委員長とし、宗会議長、学院長及び執事長の三名を副委員長として八名以上の執行委員をもって構成し、諸事業を企画、立案し、執行し、鋭意その具体化をすすめてまいりました。私たちがお唱えしていますお題目は、七五〇年前の日蓮大聖人の第一

声に始まりました。爾来、数多くの信仰の担い手を得て、長い歴史の流れの中で幾多の盛衰の時代を凌ぎ、お題目の灯火は、人々に受け継がれながら今に至っています。その歴史は、外部においては聖人の遺教に信順する余り、時の権力と対峙し、内部的には、聖人の教判受容に相違を訴えて、分派・分立の時代が続いてきた。これらは、聖人の信仰を何処までも堅持して止まない信心を本にあり、教に信順するあまたの先師に導かれ、また、法華経お題目の信仰に励まされて、人々に生きる力となり、心の拠り所として親子に、子から孫へ脈々と息づいてまいりました。

この間、社会はますます混沌迷の色を濃くして、不透明の度はますますばかりであります。明日に希望が、安心が抱けない人々の不安は、日々に加速している感があります。大聖人が建長五年にお題目の第一声を叫ばれた時代、その当時と現在の様相はまことに酷似するものであり、と云われていますが、この行き詰まった世の中を建て直したいとの動き



本門法華宗
大本山妙蓮寺

立教開宗七五〇年慶讃大法要

平成十三年
四月十五日
午後二時
日蓮聖人五〇〇遠忌大法要
午後四時
立教開宗七五〇年
慶讃大法要
午後七時
立教開宗七五〇年
慶讃大法要

きが高まり、このための変革・改革の声は、一世を風靡して論議がひろまってきましたし、従来のあり方に対する反省・改革の火の手は燃えさかっています。

「人々の苦悩を和らげたい、安心の日々を築かせたい」この大聖人の悲願こそ、その信仰を相続する私たちに課せられた大きな責務であります。社会に暗雲が立ちこめ、人々の心を塞ぎつつある今こそ、聖人の御心を、お題目のひびきをさらに高め、「心の変革、心の浄化」の重要さを叫びつつ、人々に「お題目のこころ」を大いに訴えることこそ、私たちの責務であります。

「日蓮が慈悲願大ならば、南無妙法蓮華経は萬年のほか未来までもながるべし」

積善の誓願をわが一身の願いとされ、この実現のために聖人が、お題目をもって仏国土建設を疑われなかつたお心を、私たちは決して忘れずにはなりません。この「南無妙法蓮華経のお題目」は、七五〇年を経た今日、私たちの手に託されて祖願の成就が待たれていると自覚するべきであります。

争いのない世界、お互いの生命を

未来を担う法器養成

復元立宗五〇年

この方針に添って、「未来を担う法器養成」復元立宗五〇年」の二つのテーマをもって宗門教師のより一層の意識の深化をめざして記念出版事業に取り組んでおります。

すでに、前者においては元本門法華宗管長増田日敏現下ご執筆の「法華経の虚空会説法―起顕竟法門―」上下二巻を平成十一年七月に刊行し、本宗教師の基礎教育、法門勉強研鑽の一助として立教開宗七五〇年記念出版として発刊いたしました。今日、当宗の純粹教学が時代を下るにしたがって、次第に希薄になっていく現状を踏まえて、改めてその徹底を期する狙いから企画されたものであります。

後者においては「復元立宗五〇年」を迎えるにあたり、これまでの経緯を集約して、新たに「五〇年史

あなたの旅、実現させませんか？

旅の積立プラン

「たびたび」は旅の夢を確かなものにする、旅の積み立てプランです。

| | |
|---|--|
| <p>例えば 6カ月後の20万円で みんなそろって家族旅行</p> <p>●毎月払いの場合 33,189円×6回+866円=20万円(旅行券) お支払い総額<198,134円> サービス額</p> <p>●一時払いの場合 198,266円+1,734円=20万円(旅行券) 6カ月お預入れ サービス額</p> | <p>例えば 1年後の80万円で 家族で海外へ</p> <p>●毎月払いの場合 66,041円×12回+7,508円=80万円(旅行券) お支払い総額<792,492円> サービス額</p> <p>●一時払いの場合 784,314円+15,686円=80万円(旅行券) 12カ月お預入れ サービス額</p> |
| <p>例えば 1年後の4万円で 仲間といっしょに温泉</p> <p>●毎月払いの場合 3,303円×12回+364円=4万円(旅行券) お支払い総額<39,636円> サービス額</p> <p>●一時払いの場合 39,216円+784円=4万円(旅行券) 12カ月お預入れ サービス額</p> | <p>例えば 3年後の30万円で 南の島へバカンス</p> <p>●毎月払いの場合 8,054円×36回+10,056円=30万円(旅行券) お支払い総額<289,944円> サービス額</p> <p>●一時払いの場合 279,070円+20,930円=30万円(旅行券) 36カ月お預入れ サービス額</p> |

あなたの旅を着実に。

「毎月払いコース」は便利な自動引き落とし。

「一時払いコース」はサービス額がさらにお得。

JTB創業90周年記念 「たびたび」謝恩キャンペーン

サービス額 年利換算 **4.25%**
(一時払いコース 60カ月お預入れ)

サービス額 年利換算 **3.75%**
(毎月払いコース 60回払い)

いま824,743円をお支払いいただくと5年後の満期受取り時、旅行券サービス額が**175,257円**ついて**100万円**分の旅行券をお渡しします。

月々15,217円を60回お支払いいただくと5年後の満期受取り時、旅行券サービス額が**86,980円**ついて**100万円**分の旅行券をお渡しします。

キャンペーン期間:2001年6月から2002年3月25日まで(お申込日基準)
キャンペーン契約条件:個人契約で旅行券額50万円以上/支払い・預入期間1年以上
詳しくはJTB各店までお問合せください。

| お支払い(お預入れ)期間(月) | 12-23 | 24-35 | 36-47 | 48-59 | 60 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|------|
| 一時払いコース(%) | 3.25 | 3.50 | 3.75 | 4.00 | 4.25 |
| 毎月払いコース(%) | 2.75 | 3.00 | 3.25 | 3.50 | 3.75 |

※パーセントの数値は概算です。※満期日以降はサービス額つきません。
※この表は、2001年6月から2002年3月までのキャンペーンのものです。

●万一、お支払いに支障等ありましたらご連絡ください。旅行券購入プランの途中変更は可能です。ただし、お支払中(解約)の場合には、当初の契約よりも契約条件をお客様に不利になる点がございましてご注意ください。●旅行券はお支払完了後30日以内に全国各地の当社店舗にてお取り取りいただけます。ただし、一時払いのコースの場合は、所定のお預入期間が経過した日以降となります。●現金による払い戻しはいたしません。契約解除の場合にもお支払金額は、旅行券にて払い戻しいたします。

おかげさまで2002年春、JTBは創業90周年を迎えます。

残暑御見舞

平成十三年辛巳

日蓮聖人門下連合会



(平成十三年八月現在)

日蓮宗宗務院

| | | | |
|--------|-------|--------------------|-------|
| 管 長 | 藤井 日光 | 護法伝道部長 | 田端 義宏 |
| 宗務総長 | 渡邊 清明 | 立教開宗百周年 顕慶会事務局長 | 田澤 元泰 |
| 宗務副総長 | 加賀美泰全 | 現代宗務研究所長 | 石川 浩徳 |
| 総合企画部長 | 篠原 智高 | 国際開教室長 | 川名 義頭 |
| 庶務部長 | 垣本 孝精 | 人権対策室長 | 藤崎 一明 |
| 財務部長 | 野坂 法雄 | 参 与 | 堀江 宏正 |
| 教務部長 | 中里 観正 | 参 与 | 浅井 玄裕 |
| | | 日蓮宗新聞社社長 | 菊池 泰瑞 |

〒146-8544 東京都大田区池上一丁目二丁目一
池上本門寺朗峰会館内日蓮宗宗務院仮庁舎
電話 〇三(三七五)七(七八)代
FAX 〇三(三七五)七(七八)代

法華宗(本門流)宗務院

| | |
|------|-------|
| 管 長 | 岡本 日巨 |
| 宗務総長 | 原井 慈鳳 |
| 教化部長 | 圓成 淳龍 |
| 教学部長 | 桃井 晋城 |
| 財務部長 | 坂巻 顕導 |
| 庶務部長 | 矢吹 慈英 |

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目十九番一
電話 〇三(五六一)四(三〇)五(五)代
FAX 〇三(五六一)四(三〇)五(五)代

顕本法華宗宗務院

| | | | |
|------|-------|------|-------|
| 管 長 | 中山 日暁 | 教務部長 | 大森 俊栄 |
| 宗務総長 | 中村 通義 | 布教部長 | 早川 義正 |
| 宗務次長 | 渡辺 昭夫 | 主 事 | 多門 顕正 |
| 社会部長 | 大塚 正純 | 主 事 | 津村 乗信 |
| 庶務部長 | 島田 幸晴 | 主 事 | 飯沢 道安 |
| 財務部長 | 藤崎 行学 | 主 事 | 小松 正学 |
| | | 主 事 | 前田 成明 |

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七(七一)代
FAX 〇七五(七九二)七(二六)代

法華宗(陣門流)宗務院

| | |
|------|--------|
| 管 長 | 鈴木 木日艸 |
| 宗務総長 | 土屋 善敬 |
| 総務部長 | 佐古 弘文 |
| 教学部長 | 門谷 東生 |
| 財務部長 | 八木 恵岳 |
| 教化部長 | 佐古 大弦 |

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五丁目三五番一六
電話 〇三(三九一)八(七二)九(〇)代
FAX 〇三(三三五)七(六〇)二(一)代

本門佛立宗宗務本庁

| | |
|-------|-------|
| 講 有 | 野崎 日丞 |
| 講 尊 | 梶本 日裔 |
| 講 尊 | 井上 日慶 |
| 宗務総長 | 高尾 日音 |
| 宗務副総長 | 佐藤 日鳳 |
| 宗務副総長 | 藤本 博造 |

〒602-8377 京都市上京区御前通二条上る東堅町一丁目〇番地
電話 〇七五(四六一)一(一六)六(代)
FAX 〇七五(四六一)五(五九)九

日蓮本宗宗務院

| | |
|------|-------|
| 管 長 | 嘉儀 日有 |
| 宗務総長 | 野間 正明 |
| 総務部長 | 長崎 秀要 |
| 教学部長 | 岩崎 広義 |
| 財務部長 | 原 光明 |

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上九法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三(三九)〇
FAX 〇七五(七七二)五(九一)四

法華宗(真門流)宗務院

| | |
|------|-------|
| 管 長 | 斎藤 隆彦 |
| 宗務総長 | 上田 浩岳 |
| 総務部長 | 辻本 寛孝 |
| 教学部長 | 水野 智啓 |
| 教化部長 | 堀野 智泰 |
| 財務部長 | 木村 完祥 |
| 社会部長 | 本多 信正 |
| 主 事 | 足立 真正 |

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五(七六)二
FAX 〇七五(四四二)五(六六)六

本門法華宗宗務院

| | |
|--------|-------|
| 管 長 | 杉本 日慈 |
| 宗務総長 | 高邊 信幸 |
| 宗務部長 | 信隆 雄系 |
| 財務部長 | 増田 隆雄 |
| 総務部長 | 藤井 宏長 |
| 庶務部長 | 土畑 信教 |
| 教務部長 | 音羽 隆全 |
| 門連常任理事 | 持地 光学 |

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
妙蓮寺内
電話 〇七五(四五二)三(五二)七
FAX 〇七五(四五二)三(五九)七

宗教法人 国柱会

| | |
|-------|-------|
| 会 長 | 田中 暉丘 |
| 理 事 長 | 大橋 邦正 |
| 門連理事 | 秋場 善彌 |
| 門連理事 | 淀野 寿夫 |

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一八
電話 〇三(三五六)七(一一)代
FAX 〇三(三五六)九(九八)〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

| | |
|---------|-------|
| 会 長 | 金山 日龍 |
| 副 会 長 | 嘉儀 日有 |
| 理 事 長 | 杉若 惠隆 |
| 副 理 事 長 | 野間 正明 |

京門連事務局
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入
頂妙寺布教会館内
電話 〇七五(七六二)二(四一)一
FAX 〇七五(七五二)九(三三)八

日本山妙法寺大僧伽

| | |
|------|--------|
| 首 座 | 塙 行幸 |
| 長 老 | 石山 定光 |
| 長 老 | 吉田 行典 |
| 長 老 | 酒田 行信 |
| 長 老 | 今井 天康 |
| 長 老 | 西堀 行施 |
| 長 老 | 二宮 行和 |
| 長 老 | 老今 井行順 |
| 事務局長 | 今井 行順 |

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七一番地
電話 〇四(二三七)八(三三)九五
FAX 〇四(二三七)九(〇七)四四



舞見御暑残

平成十三年辛巳

(平成13年8月現在)

| | | | |
|--|--|---|---|
| <p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八</p> <p>責 首 鈴 木 日 宣 艸 執 事 長 真 保 行 正 執 事 栗 田 木 顕 之 執 事 高 橋 孝 俊 執 事 下 間 要 一</p> | <p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九)七一一七 FAX 〇七五(七九)七二二六</p> <p>責 務 首 大 川 山 日 曉 執 事 津 山 本 晃 定 信 執 事 小 林 村 正 乘 信 執 事 前 田 松 孝 瑞 学 執 事 補 湯 原 成 朋 純 執 事 湯 原 法 純</p> | <p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146-8576 東京都大田区池上一―一―一 電話 〇三三(七五)二二三三 FAX 〇三三(七五)二二三三</p> <p>責 務 首 酒 井 日 慈 執 事 長 早 水 日 秀 役 職 員 一 同</p> | <p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二)一〇一 FAX 〇五五六(六二)一〇九四</p> <p>法 主 藤 井 日 光 総 務 伊 藤 通 明 役 職 員 一 同</p> |
| <p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> <p>住 持 野 崎 日 丞 執 事 長 佐 々 木 日 調 執 事 伊 藤 隆 之 執 事 局 長 伊 藤 隆 之</p> | <p>日蓮本宗本山 要法寺</p> <p>〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七)三三九〇 FAX 〇七五(七七)五九一四</p> <p>責 務 首 嘉 儀 日 有 大 学 頭 丹 治 日 遠 執 事 長 野 間 正 明 執 事 岩 崎 廣 義 執 事 原 光 明</p> | <p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五)三五二七 FAX 〇七五(四五)三五九七</p> <p>責 務 首 杉 本 日 慈 執 事 長 飯 田 信 榮 役 職 員 一 同</p> | <p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602-8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四)五七六二 FAX 〇七五(四四)五六六六</p> <p>責 務 首 矢 本 放 真 文 秀 執 事 長 足 立 多 信 正 執 事 補 小 島 玄 真 正 執 事 岩 崎 峻 城 暉</p> |
| <p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺</p> <p>〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四(四八)一〇〇〇四 FAX 〇五四(四九)〇三〇三</p> <p>責 務 首 本 間 日 諄 執 事 長 与 井 出 教 道 執 事 与 坪 井 親 雄 執 事 長 土 橋 興 照</p> | <p>鎌倉開教七百五十年霊地 日蓮宗本山 比企谷 妙本寺</p> <p>〒248-0007 鎌倉市大町一―一―一五一一 電話 〇四六(七二)〇七七七 FAX 〇四六(七二)六九六七</p> <p>責 務 首 加 藤 日 暉 執 事 長 大 埜 稔 申 執 事 立 野 正 泰 山 務 役 職 員 一 同</p> | <p>日蓮宗大本山 妙顕寺</p> <p>〒602-0005 京都市上京区寺ノ内通堀川東入 電話 〇七五(四一)八〇八 FAX 〇七五(四一)〇八四八</p> <p>責 務 首 山 田 一 光 執 事 長 原 光 司</p> | <p>立教開宗之霊地 出家得度 日蓮宗大本山 清澄寺</p> <p>〒299-5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄 電話 〇四七(〇九)四〇五二五 FAX 〇四七(〇九)四〇五二七</p> <p>別 当 奥 邨 日 鳳 執 事 長 東 邨 孝 信 執 事 宮 崎 雅 宣</p> |
| <p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>〒606-8376 京都市京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七)一〇五六二 FAX 〇七五(七五)一〇〇四</p> <p>責 務 首 永 田 恵 遠 執 事 長 新 山 智 清 執 事 同 安 藤 信 行 執 事 同 藤 井 照 源 執 事 同 二 之 部 知 孝 執 事 同 川 合 陽 雄</p> | <p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八 電話 〇三三(三三)三三三三 FAX 〇三三(三三)三三三三</p> <p>山 主 駒 野 日 法</p> | <p>久遠成院日親上人御霊窟 日蓮宗本山 本法寺</p> <p>〒602-0061 京都府京都市上京区小川通寺ノ内上ル本法寺前町六七 電話 〇七五(四四)七九九七 FAX 〇七五(四四)七九九七</p> <p>重文涅槃図長谷川等伯筆 名勝巴の庭本阿弥光悦作 境内諸堂悉く京都府有形文化財指定</p> <p>責 務 首 金 山 日 龍</p> | <p>日蓮宗大本山 法華經寺</p> <p>〒272-0813 千葉県市川市中山二―一―一 電話 〇四七(三三四)三三三三</p> <p>責 務 首 長 渡 辺 貞 還 執 事 長 與 野 智 清 執 事 同 新 井 智 清 執 事 同 田 野 智 清 執 事 同 喜 多 村 浩 順 執 事 同 喜 多 村 教 雅</p> |

門連時報

日蓮聖人鎌倉辻説法霊蹟

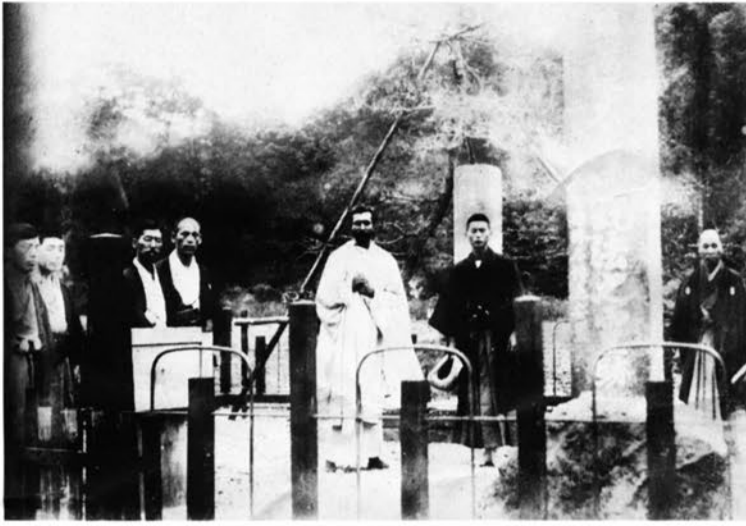
復興百年記念式と慶讃の集い

明治三十年、鎌倉要山に師子王文庫を創設された田中智学先生（国柱会創始者）は、日蓮聖人鎌倉御遺蹟の頌を慨嘆し、宗門内外にその復興を提唱されました。まず自ら、聖祖辻説法時に腰掛けられたと伝う「お腰掛石」を護持顕彰する「師子座石保存会」を結成し、やがて明治三十四年、鎌倉市小町に改めて地を相し、この「師子座石」を中心に奉祀して「日蓮大士辻説法之霊蹟」を復興されました。

本年、復興から百年という節目を迎えて、今や、日蓮聖人史伝中の重要な辻説法の古蹟を、護持顕彰することは、日蓮聖人の遺徳、霊光を發揚するとともに、ひろく門下の風氣を起し、正法の威力を光揚していくものと確信いたします。ここに

日蓮聖人鎌倉辻説法 霊蹟復興百年記念法会

開催日時
平成十三年九月九日（日）
午前十時半 現地集合
※JR鎌倉駅東口改札口に案内者が
出ております。



明治35年（1902）、鎌倉・小町霊蹟にて田中智学居士により
インド大菩提会創始者ダルマパーラと高山樗牛への授戒

開催場所
鎌倉市小町二丁目二十二
「日蓮聖人辻説法霊蹟」
記念式典
午前十一時開式 現地御遺蹟に
於いて
大導師 国柱会会長・田中暉臣
先生親修
慶讃懇親会
会場・鎌倉「峰本」鎌倉市
雪ノ下一ノ八ノ三五
鶴ヶ岡八幡下
参加会費 六千円
現地参加（懇親会午餐含む）
参加申込先
主催・国柱会本部
電話〇三（三五六）七一一
FAX〇三（三五六）九九八〇
（担当・石見）

京門連總會宗祖降誕会、開宗会開催

二月十六日午後一時より日蓮宗本山頂妙寺（水田恵遠日淳貫首）で京門連の総会が開催された。二時半より永田貫首殿下導師のもと、門下本山会の貫首殿下を始め、門連会員と参列者合わせて約百二十余名が、宗祖降誕会を厳修した。また三時より、妙蓮寺貫首・杉本日慈殿下の御法話「日蓮聖人のご生涯について」が行われた。
四月二十八日、午前九時京都駅前

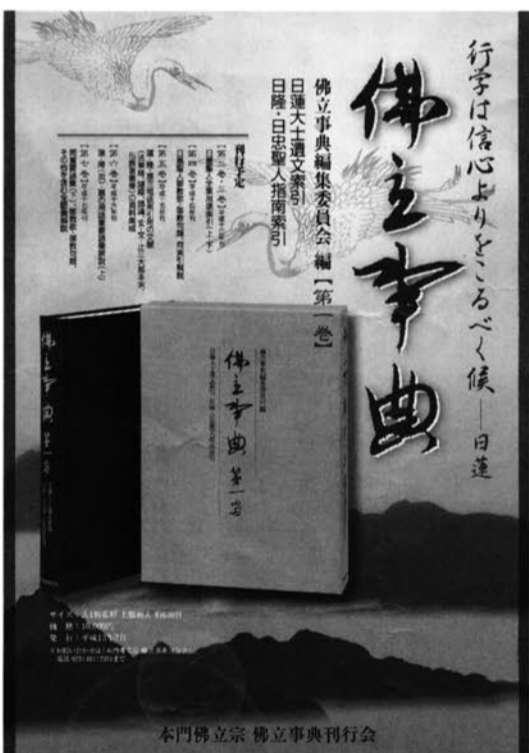
『佛立事典』配本開始—まず第一巻が

このたび、本門佛立宗・佛立事典刊行会より、『佛立事典』第一巻が発刊された。

『佛立事典』は本門佛立宗を開宗された長松日扇聖人（開導聖人）の視点から見た日蓮教学の解釈であり、仏教の展開であって、開導聖人の御指南を基礎として、門祖日蓮聖人・日忠上人の御指南、高祖日蓮大士の御妙判、さらには伝教の遺教、天台・妙楽の三大部、そして法華経というふうな、開導の信心を通して門祖を、門祖の信心を通して高祖を、高祖の信心を通して法華経をと逆観しつつ、蓮隆扇・三祖一徹の宗意を盛り込んでゆくというものである。

今後、全七巻の発刊を予定しており、全体は大きく三編に分かれる。

- I 索引編
- 日蓮大士遺文索引／日隆・日忠聖人指南索引 第一巻
- 日扇聖人全集用語索引（上） 第二巻
- 日扇聖人全集用語索引（下） 第三巻
- 日扇聖人御教歌／御教句類、同索引



- 日蓮聖人門下連合会
●目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。
- 事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
 - 1、祖廟護持の組織強化
 - 2、教育事業の提携
 - 3、布教の連合強化
 - 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
 - 5、各種出版物の刊行
 - 6、海外布教の提携及び交流
 - 7、対外的な各種の運動
 - 8、その他
 - 加盟団体
日蓮宗 法華宗本門流
顕本法華宗 法華宗陣門流
本門佛立宗 日蓮本宗
法華宗真門流 本門法華宗
国柱会 日本山妙法寺
京都門下連合会

このように本書は、佛立宗義に関する文献語彙十万余項目を蒐集整理し、さらに重要な語彙には解説を加えるという形で編集されて行く。

【お問い合わせ先】
本門佛立宗・佛立事典刊行会
電話〇七五（四六一）七三五一
FAX〇七五（四六四）五五九九
e-mail: nichiren@gold.ocn.ne.jp

NHK大河ドラマ「北条時宗」のメインテーマ
鎌倉時代「元寇」という、国の一大事あり

「元寇」 土佐光貞

大地震と打ち続く飢饉・疫病。世は混乱し人心は悪に帰す亡国の嵐。遂に大蒙古国の襲来。日本全体を震撼させた未曾有の国難。巻き起こる雷雲、波濤に微塵となる大蒙古の巨船。他国侵襲を予見し、戦乱に直面する人々の悲嘆を同一の苦として日本国を滅亡より救おうとされる日蓮聖人。伝承の奥に真実を描く入魂の一幅。

■「立正安国論」を唱えられた日蓮聖人のお姿がNHK大河ドラマ「北条時宗」にも登場！
■復刻版特別頒布／総縁 正絹牡丹唐草・中廻し 中金四重菱二重蔓牡丹・一文字 中金大燈金欄／軸先 金軸
軸総丈159cm×幅51cm 軸寸57cm

頒 価 60,000円(税・送料別)
特製桐箱収納（写真は仏表装仕立です）

お申し込み先 (株)日蓮宗新聞社

〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話 03-3755-5271 FAX 03-3753-7028
※商品についてはお気軽にお問い合わせください／お申込み後、約二週間でお届けします





各派・教団 短信

顕本法華宗

4月25日、総本山妙満寺に於いて、顕本法華宗管長・総本山妙満寺第三〇四世貫首中山日暁現下の法灯承継式が、僧員、檀信徒多数参列の中厳修された。

6月2日、千葉県東金市文化会館に於いて日蓮大聖人立教開宗七五〇年慶讃「報恩のついで」東部大会が東日本の檀信徒千二百人結集のもと開催された。

7月24日、三泊四日の日程で、総本山妙満寺に於いて第三十八回顕本青少年錬成会が開催される。

日蓮本宗

2月7日に興師会法要と教師研修会が、本山要法寺にて開催され多数の教師が参加した。

3月1日に定期宗会・門末会が本山大書院で開催された。平成13年度宗政・山務行事計画及び経常部一般会計予算等がほぼ原案通り承認された。

法華宗真門流

2月23日教区所長会議、布教師会を開催、本年度各教区の活動計画案の報告、布教計画を作成。

3月30日立教開宗七五〇年慶讃唱題行脚（清澄山御尊像前より総本山本隆寺までをリレー方式にて）が実施された。

4月11日より三日間、総本山本隆寺千部会が厳修された。

法華宗門流

2月3日、総本山本成寺に於いて「節分鬼踊り追儺式」が貫首鈴木日輝現下御導師のもと厳修され、約一万人の参拝者で賑わった。

5月12日、伊豆・霊跡別院蓮華寺に於いて、「娚岩法難会」が厳修された。本年は表参道も拡張整備され、全国寺院よりの檀信徒が参拝につめかけた。

本門法華宗

7月6日本門法華宗宗会が、大本山妙蓮寺卯木講堂で開催された。議題は、平成12年度本門法華宗決算の件。平成12年度本門法華宗決算の件。平成12年度立教開宗七五〇年慶讃会決算の件。総長選出の件。大本山妙蓮寺の件。その他審議された。

大本山妙蓮寺では1月20日の本山総代会において、新本堂再建について提案がなされた。現本堂は天明8年（一七七八）の大火により、消失のため、教賀本妙寺の祖師堂を解体移築したもので、建築以来三百有余年（移築以来二百有余年）が経過し老朽化して雨風にもちかたえろの限界に達したため、建設委員会を充足させ、原案を作成、宗務当局と協議の上、宗会の議決を得て正式にスタートの予定。宗門本山合同で検討するが、主体は本山。

法華宗本門流

54次定期宗会は5月21、23日、本年一月開堂となった「法華宗宗務院新庁舎」において開催。新議長には石田智清師（沼津市・東之坊）、副議長には菅原隆岳師（吹田市・法華寺）、法務委員長には江頭正山師

（武生市・久成寺）、財務委員長には渡辺俊岳師（北海道・本因寺）がそれぞれ選任され、予決算の承認可決、開宗七五〇年慶讃事業として宗門主催の法要イベント開催等18議案を議定して無事閉会。尚、平成13年度全国宗務所長会は5月30日31日開催（同会場）。

日蓮宗

国内外で自然災害が相次いだ。平成十二年（二〇〇〇年）の年が明けてまもなく、中米のエルサルバドルとインドで大地震が起き、多数の死者を出した。日蓮宗は日本ユニセフ協会（ユニセフ）国際連合児童基金）から緊急援助の要請をうけ7月7日、田端義宏護法伝道部長らが東京・新宿のユニセフ協会を訪れ、日蓮宗の国際協力基金からインド大地震とエルサルバドル地震の義援金としてそれぞれ百万円を寄託した。

高齢社会になって、限りある命の末期を迎えた病める人の医療が重要になっていく中で、「ビハラー講座」を修了した僧侶たちが6月12日、日蓮宗内で全国的なネットワーク（N V N）日蓮宗ビハラー・ネットワーク）を結成した。日蓮宗現代宗教研究所が平成8年から12年まで五回開いた「ビハラー講座」修了者が約二百人になったことをきっかけに、今後、いっそうビハラー活動が積極的に行われ、また地域での社会活動も進められるよう、互いに横の連携をとりながら情報交換、協力連携を図るためネットワーク結成が浮上した。

本門佛立宗

高祖日蓮大士立教開宗七五〇年慶讃法要奉修本部並びに奉修部会が、去る5月9日・10日の両日にわたり宗務本庁で開催され、「慶讃法要の大綱」が正式決定された。本山（京都・宥清寺）三大会に全国寺院からの教講の参詣目標を四万人と定め奉修・参詣計画が進められることになっている。

更に、明年8月に全国の青少年が一堂に会し、3日は「ヤングフェスタ・イン・京都」と題し、国立京都国際会議場・イベントホールを会場に前夜祭を催し、翌4日には本山で「青少年修徳大法要」が奉修されることになっている。

国 住 会

全国各地地方連合局において、研修会、儀典講習会、婦人の集いを開催。毎月第三日曜日、妙宗大靈廟例月供養会厳修。1月14日、田中暉丘会長、近畿連合局新年大会へ御西下。31日、大橋理事長、法華宗宗務院新庁舎落成慶讃式へ。2月11日、

紀元節慶讃法要厳修。15日、釈尊涅槃会報恩法要厳修。16日、聖相降誕会慶讃法要厳修。3月7日、武蔵野御陵清掃奉仕。20日、妙宗大靈廟春季彼岸大供養会、田中会長督式の厳修。式後、大橋富士子講師より「正しいお題目と大利益」の講演。24日、中央青年部、房州霊蹟参拝バスハイク。26日、大窪梅子大姉三回忌追善法会。4月1日、「申孝園核まつり」開催。8日、釈尊降誕会慶讃法要厳修。28日、第71回身延登詣団開催（30日まで）。立正会慶讃法要厳修。5月11日、大橋理事長、門連常任理事会へ。12日、伊豆法難会慶讃法要厳修。25日、名古屋局開教百十年記念全国婦人部信行の集い開催。6月8日、仏教伝来謝恩碑建立三十年記念青年使節団訪韓（11日まで）。9日、謝恩碑参拝団国会訪韓団田中会長以下訪韓。7月1日、第三十回必武館剣道大会開催。8日、顕正会慶讃法要厳修。11日、田中会長、スリランカでの大菩提会創立10年記念国際会議に出席。15日、孟蘭盆開頭大供養会厳修。（石見良教）

京 都 門 連 事 会

1月23日、理平会。平成13年度役員確認。平成12年度決算報告。平成13年度予算案・会務事業計画。総会・降誕会の件。2月16日、頂妙寺にて総会・降誕会。平成13年度役員確認・紹介。会長は本山法華寺貫首・金山日龍現下、副会長は日蓮宗京都府第一宗務所長・杉若忠隆師、副理事長は日蓮本宗宗務所長・高見正弘師、事務局担当は日蓮宗、と決定。平成12年度会務報告・決算承認。平成13年度会務事業計画・予算案承認。「降誕会」、導師は頂妙寺貫首永田日洵現下。法話は妙蓮寺貫首杉本日慈現下。「日蓮聖人のご生誕について」。3月14日、理事会。開宗会・夏季大学の件。また顕本法華宗総本山妙満寺から貫首・吉永日晴現下が3月7日付けで引退、4月25日に綾部市の中山日暁現下に法灯を継承する旨報告があった。4月28日、「開宗会法要」。比叡山大講堂において奉行。導師は本山法華寺貫首・金山日龍現下。法話講師は三木随法師。6月20日、京門連伴会。7月14日、理事会。夏季大学・御会式の件。

年度替りによる役員交替の報告。また日蓮本宗総本山要法寺から宗務所長の高見正弘師が野間正明師に交替する旨報告があり、京門連副理事長職も交替となった。日蓮宗本山法華寺の金山日龍現下が、在任20周年の12月20日に貫首職を退かれ、大塚泰詮新貫首現下に法灯継承をされる予定。ならびに京門連会長職残りの任期は副会長の嘉儀日有現下が代行することとなる。8月23日、本能寺文化会館で「第38回夏季大学」。講題と講師は、「日蓮聖人の修学について」日蓮宗本山法華寺貫首・頂岳日蓮現下、「日蓮聖人の誓いと願い」日蓮宗現宗研前所長・石川教張師、「人間成功のコツ」PHIP研究所副所長江口克彦氏。午後5時より理事会。御会式の件。（谷口真也）

ぶん ぶん ぶん ぶん

今年の夏は異常な暑さであるが、鎌倉時代の日蓮聖人御在世の時は、文献に残っているだけでも、いろいろと異常な気象現象が起こっている。夏に雪や氷が降ったり、地震やそれに伴う疫病の流行。もちろん多くの人々が苦しめられた。日蓮聖人は何故にこのようなことが起こるのか、一切経を紐解かれて問題の解決にあたられた。その結論とも言えるものが「立正安国論」である。この中で、人々の仏法の受け取りに対する誤りを正された。では、現代の人々はどうかであろうか。人は口々に政治が悪いと言いが、それ以前に、日本人の信仰心が希薄になってきているように思えてならない。日蓮聖人一人が初めて声を大にしてお唱えになられたお題目。お題目をお唱えする行というものを門下につらなる者は行い、自らの信心というものをあらためて見つめ直す時ではなからうか。まずは自らの信を確立する。そこから行が生ずるのである。（石）